

環境省所蔵「千鳥ヶ淵戦没者墓苑建設の経緯」中収録文書一覧

[凡例]

- ・この表は、環境省の所蔵文書である「千鳥ヶ淵戦没者墓苑建設の経緯」全8巻（6冊）のうち、この資料集に収録した文書を掲載したものである。
- ・番号欄に付された番号は、各文書の見出し中の【 】内の番号と一致する。
- ・巻欄の番号は、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑建設の経緯」全8巻における収録巻の番号を示す。
- ・文書中に日付が記載されていないものについては、簿冊における位置、文面等から作成等の時期を推定した上で、〔 〕の中に補記した。

番号	巻	文 書 名	日付	備考
340	1	六 「墓」に関する各団体の主なる意見	〔昭和28年12月11日〕	「海外戦没者遺族の納骨施設についての懇談会」の配布資料の一部。
341	1	「無名戦没者の墓」（仮称）の建立について	〔昭和28年12月〕	昭和28年の閣議決定後の厚生大臣談話の原稿と思われる。
342	1	「無名戦没者の墓」に関する説明資料	〔昭和28年12月〕	「海外戦没者遺族の納骨施設についての懇談会」の配布資料の一部。その後の厚生省における説明資料の原型となった。
335	2	米国管理地域における戦没者の遺骨の送還、慰霊等に関する件（閣議了解事項）	昭和27年10月23日	
336	2	戦没者遺骨の納骨等に関し検討すべき諸点	〔昭和28年4月〕	
337	2	太平洋戦争死没者の遺骨の取扱等に関する件（閣議決定（案））	〔昭和28年4月〕	
338	2	別紙（一）「無名戦没者の墓」に関する件（閣議決定）	昭和28年12月11日	
339	2	別紙（二）「無名戦没者の墓」に関する説明資料（閣議決定に際してのもの）	昭和28年12月11日	
345	2	「無名戦没者の墓」打合会における厚生大臣挨拶要旨（案）	〔昭和29年6月12日〕	
349	2	「無名戦没者の墓」に関する打合会における引揚援護局長説明要旨	〔昭和29年6月16日〕	名称、墓の性格及び収納遺骨の対象について、敷地及び規模構造について、計画及び工事の時期等について、建設後の維持管理について、の5項目についての説明文が記載されている。
343	2	三 「無名戦没者の墓」に関し審議すべき事項	〔昭和29年5月〕	「無名戦没者の墓」に関する打合会における審議事項を記したものの。
344	2	別添 「無名戦没者の墓」（仮称）に関し意見を聴取する関係者名簿	昭和29年6月1日	「無名戦没者の墓」に関する打合会の出席者の名簿
346	4	第1回「無名戦没者の墓」に関する打合会議事記録	昭和29年6月16日	
347	4	別添 「無名戦没者の墓」（仮称）に関する打合会出席者名簿	昭和29年6月16日	第1回「無名戦没者の墓」に関する打合会の出席者の一覧
355	4	別添（一） 「無名戦没者の墓」に関する打合会における引揚援護局長説明要旨	〔昭和29年6月16日〕	
350	2	無名戦没者の墓（仮称）の建立位置に関する件（日遺特第四六号財団法人日本遺族会会長高橋龍太郎発厚生大臣草葉隆円宛）	昭和29年10月10日	靖国神社の境内を選定するよう要望したもの。
351	2	靖国神社配置図	昭和27年8月1日	上記文書の別紙。1952年8月作成の靖国神社配置図（1/1000）の上から無名戦没者の墓の建立地を指定したもの。大村益次郎像から東の一部分、社殿から西端が指定されている。

番号	巻	文 書 名	日付	備考
352	4	「無名戦没者の墓」の建設に関する資料	昭和31年9月10日	厚生省引揚援護局と内閣法制局、文部省宗務課が憲法上の問題について検討した記録である「「戦没者の墓」を国において造営する場合の問題」、昭和28年10月6日に実施された「戦没者納骨施設についての打合せ会」の記録等を収録する。
353	4	「無名戦没者の墓」(仮称)に関する第二回打合会議事記録	昭和31年12月3日	厚生大臣の挨拶、出席者の発言要旨、出席者名簿を収録。
354	6	無名戦没者の墓(仮称)の設置に関する立法について	[昭和31年12月3日]	第二回打合会において提案された立法化の必要性等を記した文書。タイプ印刷。
355	6	無名戦没者の墓(仮称)設置法案要綱	[昭和31年12月3日]	第二回打合会において提案された立法化の具体的な案として作成されたもの。タイプ印刷。